

美濃加茂市未来のまちづくり委員会（第8回）議事録

1. 日時：令和元年7月5日（金） 午後7時00分～9時00分

2. 場所：美濃加茂市生涯学習センター 203号室

3. 出席者（順不同）：

（1）委員：

海道会長、渡邊副会長、生田委員、原田委員、山田委員、鈴木委員
宮口委員、長谷川委員（9名中8名出席）

（2）業務委託先：

玉野総合コンサルタント株式会社3名

（3）市：

経営企画部長、企画課長、その他企画課2名
建設水道部対策監

4. 報告事項

事務局から、資料に基づき報告がされた。報告内容は、前回委員会の議事録、今後の委員会スケジュール、新庁舎の機能・規模についてである。

5. 審議事項

資料3-1（美濃加茂市新庁舎整備基本計画（案）（配置計画））について審議を行った。委員から出された主な意見は以下のとおり。

（1）資料3-1 配置計画について

事務局から、資料に基づき新庁舎整備基本計画（案）（配置計画）について説明があった。委員から出された主な意見は以下のとおり。

・P.21 A-2案について、ペDESTリアンデッキの下の部分はどのように活用するのか。

→（事務局回答）ロータリーや駐車場を検討している。

・P.24 A案とB案の特徴をまとめた表について、ペDESTリアンデッキのコストについての項目がないが、委員会ではコストについて審議をしないのか。

→（事務局回答）コストについては、今後建築物の規模が決まり次第提示したい。

→（会長）コストは重要な検討材料になる。

・ペDESTリアンデッキを作るのであれば、浸水被害等を考慮し、主要な窓口は2階に配置した方が良いのではないか。そのような記載があれば議論も深まる。

→（事務局回答）浸水対策として、くわえてサーバー等の重要なものを上階に配置することに対応したい。

・駐車場はどのように考えているか。今の想定では足りないのではないか。

→（事務局回答）駐車場は市有地内で確保できる想定。今後高齢化が顕著になっていく中

で、車の利用は減少していく想定であり、過剰な整備とならないよう計画している。

→（会長）公共交通でアクセスできる方が好ましいのではないかと。事務局より現況の中で対応可能という検討結果もあるため、駐車場は増やさない方が良いのではないかと。

・A案の南側の広場と商店街をつなぐ意図は理解できるが、B案はペDESTリアンデッキが大きくなり、コストが増えるだけではないのか。B案にはどのような意図があるのか。

→（事務局回答）A案のデメリットとして、駅からの景観に圧迫感を与える点が挙げられる。B案は庁舎と駅の間空間を設けることで、圧迫感を緩和し、訪れた人に潤いを与えられるような広場を作ることが出来る。コストについては検討が必要。

・資料3-1にはA案・B案以外記載されていないが、他の可能性もあるのではないかと。例えば建物を東側に寄せ、西側を広くとるなど。

→（会長）A案・B案以外も検討しないと、可能性をつぶしてしまう危険性がある。

→（事務局回答）A案・B案どちらかに決めていただきたいわけではなく、広場を北側か南側かどちらが良いか、意見を聞き今後の検討材料としたい。

・P16 徒歩圏を北の商業施設から南の商店街までを囲っているが、回遊させることの可能性・実現性はあるのか。午後5時過ぎにその区間を歩いたところ、他に歩いている人は見受けられなかった。

→（事務局回答）現在の庁舎から考えれば、徒歩で来庁できる人は増えると想定している。またそのような立地になっていることで、申請等でなくても庁舎等に立ち寄りやすくなるのではないかと。

→（会長）歩行者がいらないのは、まさに魅力がないから。魅力を高めるようなきっかけとしての新庁舎になるような議論が必要。

・P. 20～23イメージの図があるが、これらは実際に導入する機能や延床の面積を計算したうえでのイメージなのか。

→（事務局回答）敷地の制限や延べ床面積等がある程度踏まえたイメージである。

・南海トラフ等の大災害を踏まえ、まちの延焼が問題にならないかと。

→（事務局回答）計画地は民家に隣接しておらず、道路に囲まれているため、延焼の恐れは少ない想定である。さらに計画している広場は災害時の避難場所等の活用も視野に入れて検討をしている。

・駅の利用者を見込んで計画しているが、現状では利用者はとても少ない。そのため駐車場はかなり必要なのではないかと。

→（事務局回答）近隣の大学の送迎バス利用者や長良川鉄道利用者等の増加により、近年では駅の利用者は減少傾向から回復している。将来を見据え、車と公共交通の両面について、十分に検討していく必要がある。

・市職員があい愛バス通勤をするなど、市が積極的に公共交通を使用する姿勢を示した方が公共交通の普及につながるのではないかと。

→（事務局回答）あい愛バスを利用している職員は何名かいると聞いている。市として公共交通の利用もすすめたい。

・駅に近接している立地を活かすためには、にぎわいの機能を北側に配置した方が、立地を生か

せるのではないか。A案にもB案のような駅に近い利点を活かした検討が必要なのではないか。

→（事務局回答）駅と庁舎がどのように接すれば最善か、改めて検討を行う。

・建築法規を踏まえると、何階まで建築できるのか。

→（事務局回答）最大で8,9階までと想定している。

・駅の近くに駐車場があると、来庁者以外の利用が多くなるのではないか。そのあたりの区別を検討したほうが良いのではないか。

・資料2-4にも関連するが、導入するものすべて実施するにはどれほどのコストがかかるのか、把握しておいたほうが良いのではないか。コストに見合うペDESTリアンデッキの必要性も提示したほうがよいのではないか。

・ペDESTリアンデッキを設置するのであれば、庁舎だけではなく、西側にもアクセスできるように検討したほうが良いのではないか。

（会長から）

・A案かB案だけではなく、庁舎のあり方やまちのにぎわいとの関係、駅との関係、防災上の問題、駐車場の規模等を整理し、A+B案のような他の可能性を広げて提案してもらいたい。

・次回は配置等を改めて整理した後、コスト等を含めた事業手法について協議を行う。

6. 今後の予定

次回開催日時の確認がされた。

委員会の開催日は令和元年9月13日（金）午後7時～9時 場所は生涯学習センター402号室

以上